

う撤去するというのありきで話をしておるんですが、やはり設立の目的また、ある一定の基準でつくられておるこの施設でございますので、使われなくなったからではなくて、撤去しなくちゃいけないくらい老朽化してきたらどうするのか。今は撤去する数も入れておるんですが、まだまだそういうところには行っておりません。そういう中で、我々は全体的な中で捉えていくべきであろうと思っておりますし、当然、危険なものになったらもうそれはやらなくちゃいけないんですが、逆に撤去するよりも、やはり多少の維持管理、メンテナンスの中でこの延命ができるとしたら、またさらに続けていくものもあるかと思うわけであります。最終的なやはりそのところは、撤去ということになるんだろうと思います。それを見ながら、どれを優先的にしていくかというのはまだ、数多い橋があるわけでございますので、そういう中で捉えていきたいと思っておりますし、これは全ての施設もそうでございますが、この老朽化の中で撤去するのか存続するのか、メンテナンスの中で対応していくのか、非常に大変な数あるわけでございますので、その辺をしっかりと見据えながら進めていきたいと思っております。あくまでも、何年たったから壊すんだ、撤去するんだというところは考えてございません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

笠原議員。

2番（笠原幸江君）

ありがとうございました。これで私の一般質問を終わります。

議長（倉又 稔君）

以上で、笠原議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

関連質問なしと認めます。

次に、吉川慶一議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。〔1番 吉川慶一君登壇〕

1番（吉川慶一君）

おはようございます。

創生クラブの吉川慶一です。よろしく願いいたします。

1、糸魚川市の農業の持続と農地の維持について。

当市は、耕作条件が厳しい中山間地域を多く抱えており、担い手も65歳以上の割合が80%を超えております。農家の高齢化、米価の下落で農業を引き継ぐ人が減少しております。また、農業資材の高騰で経営に一層厳しさを増しています。集落営農でコスト低減を狙って作業手数料などを下げなければやっていけない状況となっております。山間地域の集落がこれからも存続するためにも、農業の持続が不可欠であります。

また、農業を取り巻く環境は、不安定な需給による米価の下落、平成30年から国による米の生

産目標数量配分と米の直接支払交付金の廃止、ＴＰＰによる将来的不安など、特に稲作を中心とする当市の農業に大きな影響を及ぼす懸念があります。以下のことについてお伺いします。

(1) 中山間地域の農業の持続について。

中山間地域の農業を持続させるための課題は何か。

どのような施策を行い、今後どのような展開を図るか。

(2) 平成30年度から米政策が大きく転換されることについて。

国による米の生産調整が廃止されるが、農家にとってどのような影響があるか。

本市としての対応と対策はどのように行うのか。

糸魚川産米の販売と消費拡大の取り組みはどのように行うのか。

(3) 農地の維持・保全について。

耕作放棄が進む現状をどう捉えているか。

営農を持続するための基盤整備についてどうか。

基盤整備における地元負担、完了までの長い事業期間についてどうか。

耕作放棄地とならないための対応についてどうか。

2、市民の健康と医療受診について

市民の高齢化と人口減少化が大きな社会問題となっています。健康を保つためにも、病気の早期発見・治療が重要であります。また、医療保険料と介護保険料が年々負担増になることが予想されます。市民が健康を維持していくためにどのような指導を行うのか、地域医療についてお伺いします。

(1) 市民の受診（ドック）状況の推移と結果について。

(2) 再検診の状況と市内と市外の再検の実施状況について。

(3) 医療費の推移と今後の予測について。

(4) 医療費の削減対策について。

(5) 糸魚川市の基幹病院の受診状況について。

(6) 市内2次病院の機能の現状と課題について。

(7) 糸魚川総合病院の医師確保への糸魚川市医師会の協力に感謝しておりますが、医師確保の今後の対応について。

(8) 市民の成人病対策の健康維持のための指導メニューの計画について。

(9) 健康福祉施設の利用状況と施設の必要性について。

(10) 健康施設の利用者数と指導者の確保について。

(11) 運動施設（スポーツ施設）の利用方法と各運動コースのプランについて。

(12) 新潟県のドクターヘリの今後の運用計画と隣県との広域運用についての課題は何か。

1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

吉川議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、日本型直接支払制度をフルに活用し、農村環境の保全活動や農業用水路等の長寿命化を支援しております。

2点目の1つ目につきましては、国が策定する需給見通し等を踏まえつつ、生産者がみずからの経営判断や販売戦略に基づいた作付が必要になります。

2つ目につきましては、県及び出荷業者の動向について情報収集をするとともに、JAを初め関係機関と検討を進めております。

3つ目につきましては、エコライス栽培等のこの糸魚川産米のブランド化を進めるとともに、消費拡大を市民に呼びかけたいと考えております。

3点目の1つ目につきましては、農地の持つ多面的機能が阻害されるだけでなく、集落の存続にもかかわる大きな課題と捉えております。

2つ目につきましては、担い手への農地集積や圃場の大区画化を推進する必要があると考えております。

3つ目につきましては、地元負担率を軽減するとともに事業期間の短縮について、国、県に要望してまいります。

4つ目につきましては、担い手への農地集積や基盤整備の推進と、山菜やヨモギなどの地域振興作物の導入を促進しております。

2番目の1点目につきましては、各種検診の受診率は向上いたしており、さらに新規受診者の増加を図るなど、向上に努めております。

2点目につきましては、精密検査の受診状況はおおむね90%から95%で、ほとんどが市内の医療機関を受診いたしております。

3点目につきましては、国保加入者の1人当たり医療費は年々増加いたしており、県平均よりも高い状況が続いております。

65歳以上の割合は年々増加する中で、この傾向は続くものと考えております。

4点目につきましては、検診受診率の向上を図り、早期発見・早期治療につなげ、重症化予防に努めております。

5点目につきましては、通院の患者数は減少傾向となっておりますが、入院患者数は前年並みとなっております。

6点目につきましては、糸魚川総合病院において救急医療体制を確保しており、受け入れ実績は増加をいたしております。

非常勤医師が不在の脳神経外科については、市外搬送も多く課題となっております。

7点目につきましては、大学への要望活動を県と一緒に継続するとともに、研修医や総合診療医の育成支援や修学資金貸与事業により医師確保に努めております。

8点目につきましては、第2次健康いといがわ21に基づいて、高血圧や慢性腎臓病対策等の健康づくり施策を実施いたしております。

9点目から11点目につきましては、健康づくりセンターの利用は年々増加傾向で、平成27年度は約8万4,000人の方からご利用いただいております、指導者については指定管理者が育成をし、スキルアップを図っております。

また、フィットネスルームでのトレーニングやスタジオで豊富な運動メニューを提供いたしてお

ります。

12点目につきましては、来春に2機目の快速型ドクターヘリが配備される予定で、全県30分圏内となっておりますが、隣県との広域連携についても県に要望いたしております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

2回目の質問、よろしくお願いたします。

市長からいろいろ答弁いただいたんですが、若干詳細をお伺いたします。

地域農業を守るために、担い手不足が非常に問題になっておりまして、多くを考えなければならぬと思っておった。若い人が、やはり農業を続けていただきたい、担い手になっていただきたいということですが、問題はやはり重労働と収入が低く安定しないと聞いております。それとか集約の土地の確保が難しくなるとしてありますが、こういう問題に対して市としてどのような対策を考えておられますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

当市におけます、中山間地農業は非常に大きな課題と捉えております。特に担い手の問題につきましては、長期かつ複数の対策が必要となると考えております。

まずは、所得の向上が第一でありまして、農地の集積・集約化、経営の複合化・多角化を進める必要があると思ひますし、雇用の受け皿となります農業生産法人の育成も必要と考えております。

また、担い手を定着するにはやはり行政や関係機関だけでなく、地域の支援も必要不可欠でありまして、市民とともに推進していく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

そのように思いますが、しかし、市内には中山間地が大変多ございます。これに耕作方法を具体的に指導するのをどのようにお考えでしょうか。事例がありますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

系魚川市の水稻、田んぼの状況からしますと、河川沿いに非常に圃場が多いという土質の問題、それからここ2年ほど、台風によることの白穂の被害等ございました。県内でも、単収は県の平均よりも低い状況でございます。

そういう中で、農協と一緒にになってきめ細かな指導をするということを、今、徹底しておるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

具体策方法として、ぜひ、そういうことを進めていただきたいと思います。農家の方は、やはり大変でございますので、そこでもう一步踏み込んで、農業支援として農地中間管理機構、この集積の進捗状況をお聞きしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

農地中間管理機構、スタートした当時は非常に集積・集約が面積的に伸びなかったわけでありまして、平成27年度末現在におきましては、農地中間管理機構の機構から担い手のほうへの転貸面積が43ヘクタールとなっております。前年の3倍に伸びているという状況でございます。全国的にもやはり農地中間管理機構の利用が伸びているという状況と当市の状況を比べますと、肅々と進んでいるのかなというふうに感じております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

農地集積は、特に中山間地の山間部は非常にいいと思うんですが、平地部、この辺が若干まだ進みが悪いんじゃないかなと思っておりますが、ぜひ、そういう事例をもとにして進めていただきたいと思います。

続きまして、これの補助事業で小規模農地に対する補助はどのように行われておるのか。集落農業の組織化支援の課題等々はどうでしょうか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

1つ目の小規模農地に対する支援ということでございますけれども、県単の補助事業を使いましたり、あるいは農地が災害に遭った場合には、市単独の災害復旧費用も用意しておるところでございますし、また、地域の皆さんが農業用施設などを修理する際の補助につきましても、ここ数年前か

ら9割を補助して、地元が1割負担というふうな状況で支援させていただいておるところでございます。

2点目の集落営農についてでございますけども、組織化の課題についてはしっかりと問題と捉えておりますけども、やはり個々の経営を継続したいという方々が多いように見られます。機械や経営を1つにして取り組もうというところには、少し抵抗があるのかなというふうに考えております。個々の経営を存続させながら、農作業の受委託や、リタイアした方々の受け皿となるような集落組織をつくっていく必要があるなというふうに考えておまして、今、呼びかけているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ぜひ、集落営農の組織化を進めていただきたいと思います。やはり、支援がないとなかなか農家の人たちは、うまく話に乗ってくれないのかなと思っております。ぜひ、よろしく願います。

それから続きまして、最近、鳥獣被害がこう聞いております。鳥獣被害の対策、イノシシ、熊、猿、こしは特に多く出ておるんじゃないかなと思います。また、聞いてもおります。この対策について、お伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

イノシシの鳥獣害対策につきましては、主に電気柵、今、244キロ、市内に設置をしていただいております。まだまだ地元のほうからの設置の要望もいただいております。

それからあわせまして、今年度からでありますけども、スマートフォンを使いましたイノシシの捕獲システム、これは四国のほうで既に取り組みをされておまして、イノシシハンターという機械を使いまして、スマートフォンに映し出されるイノシシの群れを、ボタン操作で群れごと捕獲しようというふうなシステムでございまして、今年度、糸魚川市の中で1カ所、能生の島道地区で取り組んでいただけることになりました。その動きを見ながら、他の地域もモデルとして来年度以降取り組んでいただけるように、お声をかけているところであります。

いずれにいたしましても、市、また猟友会の皆さんのお力をしっかりと受けながら、鳥獣害対策に取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

大変な問題だと思っております。特に、糸魚川市内でどこの地区が一番被害が多いですか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

平成26年と27年度を比較しますと、平成27年は比較的被害が少なくありました。平成26年度と比較して、約4割くらい被害が少なかったというふうに捉えております。特に、能生谷地域も非常に多いというふうに考えておまして、どこが一番多いかというところにつきましては、なかなか特定はできませんけども、そのように捉えておりますし、先ほど申し上げましたように、能生の島道地域でスマートフォンを使った捕獲システムをことし取り組みいたしますので、その状況を見ながら被害の多い地区については、順次入れていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ぜひ、状況を調査を、市内全体に情報を流していただきたいなと思います。よろしく願います。

続きまして、担い手の育成について伺いたしますが、非常に問題、大変だなと思っております。若い担い手を育成するための施策、具体的案、伺いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

農業を担っていただきます若手農家の皆さんとは、毎年、懇談会をさせていただいております。ここ2週間足らずの中におきましても、4会場ぐらいで若手農業の皆さんと懇談をさせていただいております。個々の担い手に応じた関係機関によるケース会議を開きながら、懇談会で出た意見をどのように行政機関で反映していけばいいかというふうな材料として、対応しているところでありますけども、やはり今後は、雇用の受け皿となります農業生産法人の育成、それからやはり、地域との協働がしっかりと取り組まなければならないというふうに考えておるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ぜひ、若い人が働けるような環境づくりに、ひとつ施策を設けていただきたいなと思いますので、よろしく願います。

続きまして、平成30年度から米の政策が大きく転換されると聞いております。米政策というのは食糧管理法が改正され、生産調整、備蓄による価格の調整がされてきましたが、農作物の価格調整は作柄の変動で、大きな過剰価格変動となっております。市として、農家保護のための対策、これを具体的にどのようなお考えがあるでしょうか、伺いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

ご質問の件につきましては、行政の中では30年問題というふうに捉えております。生産数量目標面積の配分がなくなるのが、平成30年度からでございます。またあわせて、経営所得安定対策、10アール当たり7,500円の交付金は平成29年度で終わるわけでございます、同時にその平成30年に大きな問題が発生してくるということも捉えております。

特に、平成30年産米の米政策につきましては、今、新潟県内で8ブロックに分けて、県が主催しながら意見交換会をさせてもらっておるところであります。まだ具体的な動きは出ておらないわけではありますが、そこから出てきた意見を踏まえて、できれば平成29年度に何か試行的に取り組む部分がないかなというふうなところを、今、県と考えて意見交換させてもらっておるところであります。これにはやはり、関係機関それから農協も含めまして、しっかりと情報共有し現状を踏まえながら、どのような政策展開がいいかというところを、今、検討させてもらっておるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

生産調整、米価の下落、これ大きく左右してまいります。やはり補助金をもらった中で農業をやっているのは多いと思いますので、ここで交付金、補助金等に变化があるんでしょうか、お伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

今現在、需給調整のために主食用米をつくらずに、非主食用米をつくるか、あるいはソバの転作をするかヨモギの栽培をしていただくとかいう部分に、各種の支援金・補助金・交付金が出ております。30年問題を控えましてそれらの補助金が、今後どのように進んでいくのかというところは、もう少し情報収集して、今後の政策展開に反映していきたいというふうに考えておるところでございます。

いずれにいたしましても、糸魚川の中山間地農業、非常に厳しい状況でありますので、今現在、農林水産省のほうで支援金・交付金が用意されておるわけでありまして、それをフルに活用し糸魚川市の中山間地農業をしっかりと力強いものにするということが、今、必要なときかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。



1 番（吉川慶一君）

ぜひ、大いに生かしていただきたいなと思います。寂しい話じゃなくて、いい話を向けていただきたいなと思います。

それから、糸魚川産米の作柄、今年の。それから、管外への販売状況でどのような動きがあるか、教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

平成27年産米につきましては、台風フェーン現象によりまして、一等米比率が県の平均よりも下回ったという状況で、これが2年続いたわけでありまして。台風10号も心配していたわけでありまして、大きな被害も出過ぎたわけでございますけれども、管外への販売の状況でございますけれども、関東・関西それから県内ということで、大体おおむね3分の1ぐらいずつの販売の状況になっているところであります。

それから米価につきましては、8月30日にJAひすいのほうが農家組合長会議を開いていただきまして、平成28年産米の仮渡金の発表があったわけでありまして。一等米コシヒカリでは、昨年、60キロ当たり1万3,000円ございましたけれども、ことしの仮渡金では1万3,600円ということでアップされたという状況を聞いておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

アップ、大変喜ばしいことだと思いますが、ここで糸魚川産米のもっと消費拡大の取り組み、今後の対応、このお考え、農協等の連携はどうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

米の消費が伸びないのは、今、日本人は年間60キロを食べないという数字が出てきております。やはり消費の拡大を進めなきゃならんというふうに思います。

特に、糸魚川市で取り組んでおりますのは、「新潟米おにぎり食べようキャンペーン」。これは、新潟県が主催しておりますけれども、そのキャンペーンに手を挙げていただいております店舗数が、今、4店舗ございます。それから、JAひすいでは1週間に1回、「おわん1杯のご飯を余計食べませんか」というふうな取り組みを、毎週水曜日に行っておられるそうでございます。そのような取り組みをしっかりとPRしながら、米の消費の拡大につなげていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番(吉川慶一君)

いろいろ、あの手この手と取り組みをしていただいておりますが、やはり消費を上げないと、どうしても米価が下がる、やっても張りが出ないとなるわけですので、もう少し付加価値を上げることがひとつ、ぜひ、やっていただきたいなど。これは行政だけでもない、農協だけでもない、三位一体でないですか、そのようにしていただいで進めていただきたいなと思います。よろしくお願ひします。

続きまして、農地の維持・保全について、若干お伺ひいたします。

今の農業政策で、農家が守られているだろうかという疑問も多々あります。認定農業者、法人など担い手を見ても、構造政策は進んでいるとは言えません。今後、農地の流動化が進めば容易に法人化、農業法人の実質農地の取得も可能になってくるのではないかと。こうなると、担い手に構造政策の大きな影響も出てくるのではないかなと思います。これについて、お考えはありますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長(齊藤 孝君)

やはり、担い手づくりに当たりましては、所得の確保がやはり重要だというふうに捉えております。そのためには、農地の流動化を進めて集積・集約化による効率的な経営を目指す必要があるというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

吉川議員。

1番(吉川慶一君)

米価の安定が一番、価格が一番だと思っております。やはり、農業離れが大きな問題となるんですが、やはり農業をやっておられんて、農村から都会へ出ていくというのが大きな問題になるんじゃないかなと思います。逆に、都会から来て農業をやりたいということが、事例がありますか、お伺ひします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長(齊藤 孝君)

最近の動向といたしましては、新規就農者の動向でございますけども、最初からやはり、一人でひとり立ちした農家になるということじゃなくて、農業生産法人に籍を置いて技術を教えていただき、そこで地域とのつながりをつくり、自分でひとり立ちしていくというふうなケースが最近見られますし、年間3人から4人程度の就農者が見られます。今年度におきましても、能生地域の農業生産法人に雇用されて農業を学んでいるという女性も、お聞きしているところでございます。

いずれにいたしましても、糸魚川市における農業は水稲が中心でありますけども、その中心の水稲だけでは、やはり難しい面もございます。いかに冬の所得の確保をするかということが非常に大

きな課題だというふうに捉えております。

ただし、糸魚川のお米につきましては、非常に首都圏の皆さんからもおいしいという評価をいただいております。農家の皆さんには、やはり糸魚川のお米を自信を持ってつくっていただくということを、しっかりと話ししていく必要があるなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

大変明るい話もいただいておりますが、1つだけ問題があるのは農地の放棄地。耕作放棄がふえているということがあります。やはり問題が多々あります。非常に耕地条件が悪い、それから農地機械が入らん、用水の確保には大変重労働だと。それとか農道が狭いとか、高齢化になってきた、こういう問題が出ております。なかなかこういう問題をクリアするには、非常に大変だと思いますが、ぜひこの問題の解決に向かって、ひとつ行政からも向かっていただきたいと思っておりますので、ひとつよろしく願いいたします。

それから今、大変農家で6次産業化を推進していただいております。市の取り組み、ご指導としてどのように今、指導されているのかお伺いいたしますが。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

やはり農家の皆さんの所得を向上するというのが、必要なことだというふうに考えております。能生地域におけます農家レストラン、あるいはワサビの加工・販売、それから農業法人でお煎餅をつくっているというふうなことが、最近での大きな事例だというふうに思っております。

そのような大きな6次産業化もさることながら、やはり農家の皆さんが自分で加工品をつくりたいというふうなところには、市の単独でわずかではありますけども支援制度も考えております。そのようなことを進めながら、6次産業化はやはり市内でも取り組んでいただきましたワサビにつきましても、非常に大きな事業規模になりました。なかなかそのような大きな事業規模というのは、毎年毎年のように出るわけでもございませんけども、小さな6次産業についてもしっかりと支援をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

6次産業化を進められていることはいいんですが、なかなか取り組む方も少ないわけですので、やはりこれには米を利用した加工品、それから農作物をいかにして付加価値をつけて直販できるかどうか。こういう商品開発と販路拡大、これをぜひ取り組んでいただくようご指導願いたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。この件について何かお考え、補足ありますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

補足というよりも、少し事例をご紹介させていただきます。

J Aひすいの食彩館では、年間約1億2,000万円ぐらいの売り上げがあります。そこでの米を利用した商品としては、餅の売り上げが非常に好評だというふうなお話もお聞きしております。また、平成28年産米のお米から、高品質とか良食味米を区分しながら販売するというのもお聞きしておりますので、ブランド化に向けた取り組みとして、市も支援してまいりたいというふうを考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ぜひ、よろしく願います。高齢化もしてまいりますので、やはり何かで活動できるような場もつくっていただきたいなと思いますので、今後とも願います。以上です。

続きまして、2番目のほうに移らせていただきたいと思います。

糸魚川総合病院では医師が不足、外科診療が手薄だとお聞きしております。新潟大学、富山大学からの派遣に頼っております。糸魚川総合病院の現状としてこのままの状態が続けば、医療スタッフの人員削減となり、基幹病院の機能が保てなくなる懸念があります。そこで、医療スタッフの雇用が、確保が大変重要となってまいります。

新潟県の医療政策とし、推選や支援を受けた医師を地域基幹病院に緊急的に配備する必要があると推察しますが、国策として派遣できる医師が不足であれば、緊急に私は、緊急に医師を増員要請し派遣すべきでないかと考えます。

しかし、それを解決するには基幹病院の運営責任者の手腕をはるかに超えており、病院存続に地元住民による何らかの社会的医療システムの要望運動が、私は必要であると思います。

ここでお聞きいたします。地域の健康維持には病気の早期発見と運動による健康づくりかと思いますが、健康体制は整備されておりますか。また、当市の健康診断の受診率を教えてくださいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

健康診査は集団検診や糸魚川総合病院での検診、また市内委託医療機関での施設検診など、いろんな方法で受診をしていただいております。また、土曜日、日曜日の検診、がん検診と同時実施するなど、受けやすい体制づくりに努めております。

受診率につきましては、特定検診は平成27年度の速報値ですが、50.5%です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

50.5%、半分の方が受けてくださっていると思いますが、やはり健康診断が質的に病気の善悪、要するに重症になるか軽症であるかということを中心に大きく左右するんじゃないかなと、私は思います。そこで、もう少し上げる方法は、行政としてお考えはありますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

50.5%ということで約半分の方が受けていらっしゃるんですが、残り半分の方は受けていらっしゃらないということになりますので、未受診の方につきましては保健師等の訪問活動や、あるいは電話等で受診勧奨をしております。また今、夏・春の検診が終わりまして今後、秋の検診に向けて個別に受けていない方にご案内を申し上げまして、秋の検診、ぜひ受けていただくようにしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

いろんな方法でやっていただいておりますが、ぜひ、受けない方のどういう理由か、追跡調査も必要だと思います。ぜひ、受けていただいて健康維持をしていただきたいと思います。

それから続きまして、医療費が年々増加しております。また、医療費が上がってまいりました。ここで、じゃ、医療費を減少させる施策、具体的にお考えありますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

医療費分析や検診の状況を見ますと、検診を受けていない方は検診を受けている方に比べ、約3倍医療費が高くなっております。また、生活習慣病の占める割合が大きいことから、市民の方がみずから健康づくりに取り組めるよう支援するとともに、検診受診率の向上と重症化を予防することが重要だと考えております。

また、今年度は特に若い世代へのアプローチに力を入れ、生活習慣病の発症を抑制することと、また検診結果で高血圧と判定される方が県平均を上回っていることから、高血圧対策を重点推進項目に掲げ、取り組んでまいります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

じゃ、今の施策をひとつ方法もご検討いただいて、随時、進めていただきたいと思うのでお願い

いたします。

続きまして、先ほども言いましたように、糸魚川市の基幹病院の現状を聞かせていただきたいなと思います。基幹病院の現状と受診状況についてお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

外来の患者数は減少傾向となっておりますが、入院患者数は前年並みとなっております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

減少傾向と、非常に聞いたところはいいんですが、これをどうとればいいのか、私はちょっとわからないのですが、人口に左右するのかみんな健康であるのかわかりませんが、何かの施策をしたのか、この辺ちょっとお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

人口の減少もあるかと思いますが、科別に見ますとやはり、一部、常勤医師が不在になっている科がございますので、そちらの外来ですとか減少傾向となっておりますし、また一部、外来も入院も上昇している科もございます。全体的な患者数につきましては、減少傾向とはなっているんですけども、先ほど申し上げましたとおり、入院患者数は前年並みとなっている状況でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ぜひ、また減少になるように進めていただきたいと思います。

続きまして、糸魚川病院で2次診療、要するに入院の必要性があると。この2次診療の受診状況はどうなっておるのか、お伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

救急で入院となる患者さんにつきましては、全体的に減少傾向となっております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

救急患者が減ることは、大変喜ばしいことと思いますが、糸魚川病院へかからないで他の地区へかかるようでは、いささか疑問視されると私は思っております。ぜひ、そういう問題を、いま一度分析をしていただきたいと思います。

それから続きまして、糸魚川総合病院の医師が不足というのをお聞きしております。その補充として、糸魚川市の医師会から協力をいただいております。大変感謝申し上げますが、医師の不足の問題、課題、この点についてお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

医師確保については、非常に厳しい現状であると受けとめております。特に、常勤医師が不在の診療科につきましては、救急医療の運営においても大きな課題であり、今後も病院や県とともに大学への要望に努め、医師の偏在対策についても引き続き、国へ要望してまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

ぜひ、ご努力をいただきたいと思います。医師が不足になると、患者数も減り経営も大変になるんじゃないかなと思いますので、よろしくお願いします。

それに関連しまして、地域医療体制の医師と医療技術者の確保、これをどのように行政として進められていくのか、お伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

先ほど市長が答弁しました医師確保対策を進めるとともに、修学資金については積極的に周知を図り、地元へ帰っていただける方の増加を目指したいと考えております。

また、医師や医療技術者が働きやすい環境となるよう、病院と連携しながら取り組んでまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

ぜひ、重点的に進めていただきたいと思います。この件については、補助等々いろいろあると思いますが、環境整備もしながら、ひとつ進めていただきたいと思います。

続きまして、成人病が社会問題となっており、やはりふえております。これを少しでも軽減する

方法とし、運動の健康づくり、これが必要となると思います。先ほど市長からも答弁ありましたが、具体的にお伺いするということと関連し、心の健康づくりの支援体制についてお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

運動につきましては、生涯学習課と連携し、スポーツの普及を図るとともに、地区運動教室の数をふやしたりしております。また、今年度は新規に、男性限定の教室を開催するなど、運動習慣の定着を図っております。

心の健康づくりは、介護施設などでの研修会の開催を初め、食育のストレス対策や相談支援体制の充実を図っております。今後も、地域や職場、家庭での見守り体制を強化するため、ゲートキーパー養成などによる対応力向上を図ってまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

具体的に入ると健康施設を、そうすると健康づくりの支援体制で健康施設を有効にやっぱり使っていたかなきゃならんわけですが、その有効にやる方法と、指導者の確保が必要になるうかと思えます。その体制についてお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

施設の利用される方の声を常に確認しながら、利用しやすい施設となるよう努めております。

指導者につきましては、指定管理者が育成しておりまして、充足しているものと認識しております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ということは、具体的に行政は何人ぐらいいるか把握しておりますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

現在、健康づくりセンターのほうで運動メニューを提供しているのが、約18種類ぐらいメニューがございます。ですので、それに合わせた形で指導者が充足していると。お一人一人が、いろいろダブって教えていらっしゃる方もいるんですけども、きちんとスキルアップも図りながら指導



していただいております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

よろしく申し上げます。

続きまして、2・5次の救急医療体制についてお伺いします。

糸魚川病院の医師減少の中、24時間救急医療体制を確保していただいております。高齢化により患者が増加しておるようにお聞きしておりますが、市外へ救急搬送もふえてるんじゃないかと思えます。市内で対応をできる体制整備、喫緊の課題と考えますが、市としてどのような対応をお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

市内で医療が完結できるよう、ハイケアユニットを整備し、より高度な医療に対応できる体制が維持されておりますが、議員おっしゃるとおり常勤医師が不在の診療科において、市外搬送が多いことが課題であります。今後も医師確保に努めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

今現在、糸魚川病院、土曜日が医師が不在だと思うんですが、これは市内の医師から協力をいただいております。適応医師がやはりいなければ、管外、市外へ搬送になると思っていいわけでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

健康増進課長（横澤幸子君）

土曜日につきましては、救急対応ということで糸魚川総合病院から対応していただいております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

じゃ、24時間対応をいただいておりますという認識をしていいわけですね。

続きまして、先ほどドクターヘリについて市長から回答ありましたように、2機目が間もなく運用になるということでございますが、2機目になったときも近県との対応、広域運用というのは現在のままの運用になるわけでしょうか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

岩崎市民部長。〔市民部長 岩崎良之君登壇〕

市民部長（岩崎良之君）

2機目につきましては、来年の2月以降からの運航となります。運航につきましては、新潟県としてはまた近隣との連携運用もございまして、私どもとしては、県のほうには富山との連携のドクターヘリについても要望をしているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

再度確認しますが、富山県等は確認しておるんですが、長野県等はどうなるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

岩崎市民部長。〔市民部長 岩崎良之君登壇〕

市民部長（岩崎良之君）

系魚川総合病院へ富山大学から先生が来ていただいたり、実際、富山のほうへ入院される方も多いということで、比較的富山と一番結びつきが深いことから、まず富山県を優先して連携という形で動いておまして、長野県については、今のところ働きかける等はしておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

じゃ、ひとつ新潟県と富山県が連携とれるように進めていただきたいと思います。

最後になりますが、お願いでございますが、市内の福祉施設の防犯対策の現況についてお聞きしたいんですが、全国的に見ますと福祉施設の不審者等々、またあります。こういう緊急時の対応マニュアル、行政との連携基準はあるかお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

水嶋福祉事務所長。〔福祉事務所長 水嶋文明君登壇〕

福祉事務所長（水嶋文明君）

神奈川県で発生いたしました障害者施設の事件につきましては、大変心が痛むところでございます。今回、この事件が発生した時点で、早急に市内の各福祉施設のほうに、その辺の管理の点検について指示をさせていただいたところであります。

ただ、何でも外部と交流を閉ざすというのは、福祉施設としてちょっと違うのかなというふうに考えておりますので、その辺も考えながら、今後も検討していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

十分協議していただいて事故のないように、ひとつお願いしたいと思います。

以上で、一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

議長（倉又 稔君）

以上で、吉川議員の質問が終わりました。

ここで昼食時限のため暫時休憩をいたします。

再開を午後 1 時といたします。

午前 1 1 時 5 9 分 休憩

午後 1 時 0 0 分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を再開いたします。

休憩前に引き続き一般質問を行います。

次に、古畑浩一議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

古畑議員。〔20 番 古畑浩一君登壇〕

20 番（古畑浩一君）

奴奈川クラブの古畑浩一でございます。

通告書に従いまして、これより一般質問を行います。

1、柵口温泉権現荘の放漫経営の責任と今後の取り組みについて。

柵口温泉権現荘事業をめぐることは、これまで一向に改善されない経営収支をめぐり論議され、窮余の一策として経営の健全化を図るため、民間から支配人を登用いたしました。7 年間で 1 億円超えの累積赤字となり期待を大きく裏切る結果となりました。やはり、行政が直接やるべき事業ではないという結論から、民間経営・指定管理へ移行すべきとする議会側の要求に対し、4 億円もの大型リニューアル後に指定管理に移行するとした方針を示したものの、予算案通過後に行政直営方式継続へと急遽方針を転換。その際に、2 年間で 4,000 万円の経常利益を確約するも、初年度で 2,700 万円の赤字を計上。黒字化への約束を果たせぬまま、またも市民の血税で補填するという最悪の結果となりました。

こうした経営上の問題点を調査する中で、経営計画を策定するに当たり、何ら過去の会計上のデータを分析することなく、全く根拠もない場当たりの数値によって積算し、予算計上してきた事実も発覚。さらに、食材の原価計算・日計表や棚卸しなど、基本的な経理も全くされていない放漫経営の実態や、年間 1,500 時間を超える時間外勤務により労働基準法違反で是正勧告を受けた労務管理など、いたずらに支出の増額を招き、市民の信用を失墜させた支配人の現場責任及び糸魚川市直営施設として行政の監督責任が問われ、あわせて支配人の勝手な判断による特別室の無断で